

“追突事故”の多くが 低速追従時の安心感と油断からくる 車間不足と注意力不足

平成27年 夏の全国交通安全運動
期間:2015/7/11(土)~20(月)

- “うっかり・ほんやり”による交通事故を防止しましょう
- “スピードダウン”で安全運転

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ~し！」

熱中症か、高齢者4人死亡 ◆“水分補給”を十分に◆

2015/07/13 21:08

列島各地で最高気温が35度以上となる猛暑日を記録した13日、熱中症とみられる症状で搬送された栃木、埼玉、静岡各県の高齢の男女4人が死亡した。

信号、横断歩道なし 86歳女性はねられ死亡

2015年7月13日(月)21時26分

13日午前10時5分ごろ、富山県の町道で、道路を歩いて横断していた無職の女性(86)が、軽乗用車にはねられ死亡しました。横断していた場所に信号や横断歩道はありませんでした。警察は軽乗用車を運転していた61歳の女性から状況を聞くなどしています。

観光バスと大型トラックが衝突 20人以上ケガ

2015年7月14日(火)7時45分

14日午前3時過ぎ、三重県の東名阪自動車道で観光バスと大型トラックが衝突する事故があった。バスと大型トラックは高速道路ののり面に転落していて、ケガ人は少なくとも20人以上いるという。この事故でバスと大型トラックは約2m下の茶畑に転落し、横転しているという。

労災事故 工場内で、機械が頭に接触、25歳男性が重体

(2015年7月10日 15:26)

9日午前9時40分ごろ、岐阜県の会社の工場内で鉄板運送用の機械が社員の男性(25)の頭部に接触する労災事故が起きた。男性は病院に搬送されたが、外傷性くも膜下出血などのけがを負って重体だという。警察の発表によると、事故発生当時、鉄板運送用の機械は何らかの不具合が生じたため、作動を停止した状態で男性が点検を行っていた。

護送車が渋滞の車列に追突か、4台絡む事故 24人搬送

◆前方の車両で何が起ころかわかりません、“車間距離を十分に”◆

2015/07/10 12:41

10日午前9時ごろ、東京都の首都高速で、警視庁の護送車やトラック、タクシーなど4台が絡む玉突き事故があり、24人が病院に搬送された。いずれも軽傷とみられる。警視庁によると、男性巡查長(34)が運転する護送車が渋滞の車列に追突したとみている。護送車には10~60代の留置人16人と警察官ら計約20人が乗っており、東京地検に向かっていた。警視庁の課長は「けがをされた方の早期回復を願っています。再発防止を徹底していきます」とのコメントを出した。

トラックがガードレールに衝突し、横転 運転手死亡

◆福島県の常磐道、“函館ナンバー”の大型トラック◆

2015年7月12日(日)11時16分

11日午後6時5分ごろ、福島県の常磐道で、函館ナンバーの大型トラックが横転し、運転していた男性が死亡した。トラックはSAに進行中、流出路の右カーブで道路左側のガードレールに衝突して横転、コンクリート壁にぶつかったという。